

学校だより・あすなろ

校長 田崎俊一郎



平和への願いをこめて

光と影。光が強ければ強いほど、それを受けてできる影もよくなります。パリオリンピックが開かれてから、平和の祭典であるオリンピックがスポーツ祭典として行われ、国と国との競技が行われ、親睦を深めています。多くの競い合い、親睦を深めています。平和の祭典として、多くの競い合い、親睦を深めています。平和の祭典として、多くの競い合い、親睦を深めています。

あるオリンピックですが、今回のパリオリンピックにも、光と影があります。今回のオリンピックに国として参加が認められなかった国が2か国あります。この2か国の選手は、個人としては参加が認められているものの、国として入場行進はできず、たとえメダルを獲得しても、国旗の掲揚はもちろん国家斉唱も認められていないということです。これまでオリンピックでも同様に国として参加を認められなかったり、あるいは国として不参加を表明したりしたこともありましたが、連日、選手たちの活躍が見られるオリンピックですが、その陰で国と国との諍い起きているのも事実です。国と国同士の諍いがスポーツに限らず、あらゆる生活に影響を及ぼす、そんな時代にははいけません。

今から79年前の1945年、昭和20年8月9日、11時2分。一発の原子爆弾が長崎市の上空、約500mで炸裂しました。一瞬にして、およそ24万人が暮らしていた長崎の町をおよみ込ませました。1945年末までにおよそ7万人の尊い命が奪われ、負傷された方はおよそ7万人に上ります。長崎市内にあった住居の36パーセントに当たる1万8409戸が被害を被りました。現在も後遺症等で苦しむ方がいらしています。

長崎県では、今日8月9日を「県民祈りの日」と定め、原爆犠牲者のご冥福をお祈りするものと、恒久平和への誓いを新たにすため、午前11時2分に全県民が一斉に1分間の黙祷を捧げると定めています。

これからも平和な世の中をしっかりとつくっていく決意を、子どもたちにもたせるには、79年前の出来事を正しく理解し、理解したことを語り継いでいくことが大切です。今日をスタートに、年間を通して平和教育を進めていきます。

夏休みの生活

子どもたちは夏休みを楽しく過ごしていると思います。「先生たちは、子どもたちがこなる夏休みを何をしているの？」と思われる方もおられるのではないのでしょうか。そこで、「先生たちの夏休みの生活」を少し紹介します。

- 研修会・研究会への参加
子どもたちはお休みですが、先生方は通常通りの勤務となっています。先生方の多くは、子どもたちが登校しないこの時を使い、他の学校等に出向き、研修を行っています。時代の変化が激しいのは教育界も同じです。指導技術の向上、生徒指導、特別支援教育、事務処理の技能やICTの活用など、多くの研修会が企画されます。また、各校内研修会を実施しています。
- 教育講演会への参加
教育講演会について、先生方は講演会に参加する機会も多くあります。私も「鄭成功」についてのお話を聞かせてもらいました。歴史的な平戸との関りを初めて知りました。
- 教材の研究
多くの教科を一人で受け持つ小学校の教員にとって、夏の教材研究は大変重要です。2学期から毎日の授業をどのように仕組んでいくか、どんな教材を用いて子どもたちの興味を高めしていくか、夏休みに研究をしています。
- 行事の企画
2学期や3学期に実施するいろいろな行事の具体的な計画案を立案します。そして、関係機関との交渉や打ち合わせなどもこの夏休みに行います。
- 環境整備
教室の環境整備はもちろん、学校施設の維持と管理についても先生の大切な仕事となっています。7月末に池の掃除を行いました。また、暑い中、敷地内の草刈りに励んでいただいている先生もおります。気持ちよく子どもたちを迎えられるように頑張っています。

子どもたちがしっかりと力をつけられるように、そして、「北小は、最高だ!」と思えるよう、この夏、準備を進めていきます。

2学期もご期待ください。